

第4回横芝光町学校適正配置等検討委員会会議録

- 1 開 会 平成29年1月23日 午後3時30分
- 2 場 所 視 察 町内小学校の現地視察
横芝分科会 日吉小・南条小・東陽小・白浜小
光分科会 大総小・横芝小・上堺小
全体会 横芝光町町民会館大ホール

3 会議日程

(1) 開 会

(2) 委員長あいさつ

(3) 説 明

①町内各学校の現状について

②町内各学校施設（校舎、屋内運動場、プール等）の現状について

③近隣市町村における公立小中学校の統合について

④町民等意向調査アンケート内容の概略について

⑤学校適正配置関連法令について

(4) 協 議 意見交換

4 出席委員 33名

5 出席職員 横芝光町教育委員会 教育長 齋藤 明
事務局 教育課長 椎名 富士男
教育課副課長 小川 重之
教育課総務班 吉住 康之
教育課総務班 大木 恵美子
教育課総務班 山崎 千恵

進 行 ただ今から「第4回横芝光町学校適正配置等検討委員会」を開会いたします。始めに委員長からごあいさつ申し上げます。

委 員 長 (挨 拶)

それでは説明に入りたいと思います。学校適正配置に関するアンケート調査について事務局より説明をお願いします。

事 務 局 学校適正配置に関するアンケートについて、説明させていただきます。資料1をご覧ください。第3回の会議でアンケート案について委員の皆様にご説明させていただき、さまざまなお意

見をいただきました。それぞれの分科会でいただいた意見をもとに、昨年12月19日に総務調整分科会を開催し、更に協議を重ね、最終版として資料1のアンケートとなりました。アンケートは中学生以下の子どもがいない一般町民700名については1月10日に発送をいたしました。また、中学生以下の子どもがいる保護者1911名、町内の小中学校に勤務している教職員173名、小学校5、6年生及び中学校1～3年生の児童生徒1003名については、先週、それぞれの園、学校を通して依頼をいたしました。回収については1月31日を予定しており、その後、集計作業を業者に委託し実施してまいります。報告書の完成は3月下旬になる予定でございます。

委員長 事務局よりアンケートについての説明がございました。説明についての意見がございましたらお願いしたいと思います。何かございますか。

無いようですので、事務局から何かありますでしょうか。

事務局 事務局からはその他説明事項等は特にございません。

委員長 それでは次に委員の皆様から本日の学校視察に関する意見交換をしたいと思っております。まずは横芝地域を視察した委員の方からご意見を頂ければと思っております。

事務局 前回と今日と学校の視察をいただいたところですが、その際に感想を書きいただきたいとお願ひしているところですが、この場でご意見をいただけたらと思っておりますので宜しくお願ひします。

委員 A 校舎の造りは違うと思ひましたし、光地域の体育館は新しく素晴らしいと思ひました。小さい学校ほど学校の先生が工夫をして掲示物を展示していると感じました。

委員 B 光地域の委員の方が大総小を視察したので、一番児童の少ない大総小を視察してみてどう思ったのかを伺いたいのですが。

委員 C 率直に児童が多いとか少ないとかは感じませんでしたし、子供達は元気一杯に一勉強しているなど、どこの学校も一緒だったかなと感じました。これから人数も減っていく中で、どう考えていくのかなということは今回のアンケートの結果などを踏まえて今後話合ひを持たれるのかなとは思ひます。

- 委員 D 人数の少ない学校の登校下校、少ないところは一人で登下校しているのかなと思います。もしかしたら保護者の方が送り迎えをしているのかなと思ったのですが、これが負担にはなっていないのかと感じました。
- 委員 B 集団下校の日以外は、低学年はほぼ毎日保護者の方が送り迎えをしています。
- 委員 E アンケートの資料の中で、児童の人数の推移を見たのですが、東陽小は毎年10名程度減っていくことが判ります。中規模校と言われる1学級40名であります。東陽小は弾力的運用と言って本来は1学級になるのですが、2学級に編制できる学年が2学年あります。今は1年から6年まで2学級ありますので学校活動がやり易い環境にあります。数年後は単学級になったとすると職員にとっては厳しくなるかと思えます。
- 委員 F 視察をしてみて横芝小の1学級30数名のクラスより、少ないクラスの学校の方が先生方に良く見られているなと感じました。ただ、子供達の競争力などを考えると、成長していくには切磋琢磨することが大事だと思うので、行き届いた環境での教育だけでは足りないのかなと思えました。
- 委員 G 先生方がいますのでお聞きしたいのですが、一人当たり何人位の児童生徒を受け持つのが教員の立場から良いと思えますか。
- 委員 H アンケート調査の中で、1クラスの適正な人数は何人ですかと教職員に質問する機会がありますので、その結果から判るのではと思います。先程もありましたが、40人のクラス、10人、20人のクラスとでは一人ひとりに目を配る度合いは、違いがあると思えます。ですので、その学校の特性を生かしながら先生方が取り組むことが良いのでは思っています。あと、アンケート資料にあります今後の児童生徒数ですが、大総小は35年度には50人4クラスで少ないと思われそうですが、他の学校も減少していますし、大総小などの少ない学校だけ見るのではなく、全体が減少しているところを見ていくことが大事かと思えますので、他の方々からも意見を伺ってみたいと思えます。
- 委員長 有難うございます。おっしゃるとおり今後の児童生徒の人数の推移を見ますと、確実に減っていくことが判るかと思えます。

他に視察に関してご意見はございますか。

委員 I 今日見た横芝地域の学校ですが、窓枠の一部が老朽化しているなどと思いました。騒音下の学校ですから直した方が良いと感じました。

委員 長 今の状況は教育委員会に伝わっていますか。

教育 長 施設が古いことは十分認識しています。あれだけの施設ですから一斉に対応することは直ぐには出来ませんが、状況に応じて順次対応しているところです。続いてですが、今後の児童生徒数ですが、人数の減少の問題だけではなく、男女の比率にも注目してもらえればと思います。小さい学校程、男女比に差が出てきますので。また、東陽小ですが横芝小学校区から30数名程が複合学区の栗山地区から東陽小に通っています。東陽小が2学級を保っているのは、複合学区の児童がいるからということをご認識いただければと思います。

委員 長 他にご意見はございますか。無いようでしたら、以上をもちまして協議を終了し、議長の任を解かさせていただきます。

【終了時間】 午後4時12分